



## 政治姿勢を問う！ 施政方針・予算について

誠心会 ● 加藤 貞一郎 議員

### 施政方針について

**問** 市の10年を検証したとき、人口減少という問題があるなかで、持続可能な市政運営のために、どのような施策を講じていく必要があると考えるか。

**答** 第二次総合計画の基本計画のうち、人口減少に備えて優先的に取り組むプランである「湖南市きらめき・ときめき・元気創生総合戦略」を積極的に推進します。

**問** 行政改革における公共施設統廃合は、市民に対して説明責任があるが、どのように進めるのか。

**答** 統廃合に係る説明責任は、重要だと考えていますので、パブリックコメントを実施するなどして市民の皆さんの意見をしっかりと聞かせていただきます。

### 予算について

**問** 公債費や扶助費などの義務的経費が伸び、税収の増が期待できないなかで、過去最大の227億1千万円という積極型予算の財源はどう確保したか。

**答** 既存予算の歳出抑制を図り、小中学校建て替え事業などの大型事業の予算計上で、財政調整基金を6億5千万円取り崩し一般財源の不足を補いました。

**問** まちづくりを進めるうえで、ハード事業の優先順位は何を見極めてどう判断するのか。

**答** 具体的な判断基準として、原則、新規事業は、見送るとしていただきますが、市民の安心安全に関わるような緊急を要する事業や、有効な財源措置のあるものについては優先していただきます。



## 協働と共生のまちづくりに向けて！

議会改革ネットワーク ● 植中 みやこ 議員

### 国・県予算との関連

**問** 国予算の中には、人口減少克服を中心とする地方創生策、県でも人口減少を見込み、「新しい豊かさ」をめざした予算を計上しています。本市では、人口減少社会を見据えた基盤強化と、市民協働の推進に向けての事業を計上し、「きらめき・ときめき・元気創生総合戦略」に基づいて、国・県の補助金を有効に活用し、財源の確保に努めていきます。

### 先行き不透明な金融市場の影響

**問** マイナス金利により、市債の元利償還金が増える反面、株価などの動向で企業収益などが悪くなれば、個人所得税や法人税の収入に影響があると見込んでいます。

### 地域新電力会社

**答** 4月から電力の小売りが自由となるため、地域新電力事業を実施します。公共施設などの電力を賄うところから始めます。

### (仮称)市民産業交流促進施設

**問** 市民が愛着を持ち、交流拡大につながるよう、愛称を公募します。防災拠点としての利用も計画しています。

### 公共施設を残す基準

**問** 施設の建築年数・利用率・コストなどの指標があるが、「どの施設を残すのか」ではなく、「どのサービスを残すか」「そのサービスはその施設でないとできないか」などの観点で、総合的に検討していきます。

### 教育委員会事業と市長部局の連携の考え

**問** 特に、子どもの貧困対策や、家庭教育支援は、全庁的な課題として取り組んでいかなければなりません。

### 子どもの主権者教育

**問** 子どもが、社会の問題を自分の問題としてとらえ、課題解決を育める思考力、判断力を育てる教育を主権者教育と考えます。子ども議会なども検討します。